

平成 28 年 12 月 1 日

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
運営委員会議事録（12 月期）

【出席者】（敬称略）

濱田、石丸、岡部、沖津、片桐、古池、木村、葉木、森、若笠事務局天寺
澤野委員長、森村会長補佐

1. 濱田代表理事 挨拶

11/22 5 時 59 分に福島県沖で地震。家中のアラームが鳴り響いた。今回、津波に対する避難の呼びかけが様々な媒体でなされたが、NHK が一番良かった。アナウンサーの気持ちがかもった呼びかけと、平仮名での字幕、外国人向けの情報提供など、東日本大震災の教訓が生かされたと感じた。残念だったのが、津波警報が発令された最中も、塩釜の競市場で競りが行われていた。それを知って愕然とした。結局、生き残りたい人が生き残る。我々は、生き残りたい人に生き残れるように啓発していくことが平時の活動だと思った。

2. 推進委員会澤野委員長 委員会報告

別添資料「事業報告と今後の予定」のとおり。

- ・ 熊本地震での死者の内訳は、直接死 50 人、震災関連死が 90 人で増加している。その他、地震の後に発生した豪雨災害での関連死 5 人となっている。

3. 公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワークからの報告

別添資料「運営委員会議事」のとおり。

- ・ 第 4 回定時社員会の日程が申し合わされた。総会の後、講演会を計画する。
- ・ 来期は、通信費の削減をしっかりと行うことが重要だとの意見が出され、特に、部会の再構築を検討（上半期）実施（下半期）していく中で、会員への催事案内はメールを基本とし、葉書郵送での案内は削減していく方針で検討すべきであるとの意見がでた。
- ・ 県ネット運営補助金（県ネット人数×200 円）については、収支予算書の中で科目としては立てることができないが、各県ネットでは、運営補助金をベースに予算を立て、立替方式で半期に 1 度精算することとなった。

4. 各地域の活動報告

<千葉県>

▶ 県ネット（片桐）

- ・ 11/3 千葉県秋季合同防災研修を実施。
- ・ 千葉県ネット報告会は 1/21（土）13:00～ 船橋市西部公民館 で実施予定。

▶ 船橋ネット（片桐）

- ・ 船橋ネットでは、社協と災害 VC の協定を結ぶことになった。災害 VC を協力して運営することになる。
- ・ 11/19～20 福島復興支援ツアーを実施した。富岡町では花を植える活動をしてきた。今回の研修の前に、大熊町教育長をお呼びして福島の実情をご講演いただいた。

- ・ 11/11 飯山満中学校での防災教育。この学校では、1年生は消火訓練・起震車体験 2年生は備蓄品の組み立て・段ボールトイレ作成 3年生はクロスロードをやってきた。今年の3年生がすべてのプログラムを体験し、卒業して行く。ひとつの形となった。
- ・ 船橋市より来年度は、市内小学校 54 校に対し 3 年計画でローテーションしながら防災教育してほしいとの依頼が来た。船橋ネットだけでは対応できないので県ネットに応援を頼みたい。

▶ 市原ネット

- ・ 添付資料のとおり。

▶ 流山野田ネット（岡部）

- ・ 11/3 野田流山ネット秋季研修会を野田興風会館にて実施。埼玉県ネットからも 2 名の参加があった。

< 埼玉県 >

- ・ 配布資料の通り。
- ・ 11/3 野田流山ネット秋季研修会に参加した。春日部と野田は隣同士。今後、連携協力して活動していきたい。
- ・ 11/22 埼玉県危機管理課に挨拶へ行った。埼玉県での「埼玉災害ボランティア支援ネットワーク」の立上げを検討しているとのことで、今後の動きに注目したい。

< 神奈川 >

▶ 神奈川県（森）

- ・ 神奈川県ネット活動報告会は 2/1（水）19:00～を予定。会場は調整中。
- ・ 1/24 から始まる 5 年経験者研修の DIG 事業。事前研修は 1/15 県民センターで、ファシリテーターとして参加する 17 名にはメール等で案内している。12 月 NewsLetter101 号で更に募集して欲しい。
- ・ 年明けに城郷高校で DIG 事業が学校主催で実施される。そこに指導者 20 名を募集したい。

▶ 横浜市（沖津）

- ・ 添付資料のとおり
- ・ 11/6 東戸塚小学校での防災拠点訓練に参加。炊き出しを指導。とても美味しいご飯ができた。
- ・ 11/13 瀬戸ヶ谷小学校での防災拠点訓練に参加。屋外での担架搬送・AED と心配蘇生法、炊き出し、初期消火などを支援した。
- ・ SL 横浜講座に協力。実技訓練でロープワークや三角テント、家具転倒防止などを指導。
- ・ 12/3 忘年会。12/17 救命講習を予定

▶ 座間市（濱田）

- ・ 座間市地域防災計画の最終修正が行われた。現在パブリックコメント募集中。その中で「家庭用動物」という表記が。市民に分かりやすく「ペット」という記載も入れるよう提言。
- ・ 10/29 座間市職員の避難所運営訓練を実施。職員には 10/1 付の中途採用者も参加。社会経験を積んでいるだけあって、非常に積極的に訓練に参加していた。
- ・ 小学校安全指導部会から「防災教育のスタイルを見せてほしい」と要請があり、部会のメンバーである教職員 30 名にシェイクアウトと目黒巻きを実施。啞然とした。3 分 3 時間 1

日・・・の行動が書けない。災害後のイメージができていない。子供たちを安心して預けられないと感じる。県が作成した学校安全マニュアルを知らない先生が多数いた。災害の時、引取り訓練は意味ないということを伝えてきた。

- ・ 10月11日と大和社協ボランティアスタッフ養成講座を実施。VC開設運営訓練。40名受講者。職員4名。
- ・ 熊本缶バッチについて。現在、在庫50個、300個発注。この活動は4月末まで継続。100万円を目標としたい。
- ・ 投てき水パック14枚保存袋付で324円。訓練用100枚で2160円。

▶ 西湘ネット

- ・ 2/11 鶴巻で炊き出し訓練を予定。対象者は主婦。柳島キャンプで教えてもらった炊出し袋でのカレーにチャレンジしてみる。

▶ 湘南ネット

- ・ 11/11 津波公開講演会を実施。当日、雨にもかかわらず98名参加。川崎から小田原までの参加者。アンケートも7割が回答してくれた。添付講演会報告書のとおり。

・

5. 各部会の活動報告

- ▶ 福祉部会...11/11 情報交換会
- ▶ 情報部会...11/29 温泉地学研究所・見学会 10名参加
- ▶ 応急部会...11/20 四季の森で防災フェアを実施。三角テント・トイレ・ガラス飛散防止フィルム・防災かるた(子供向け)を実施した。保育士の資格をもっている新しいSLさんに防災かるたを担当してもらったらとても上手かった。今後も活動に参加して欲しい。

6. その他

12月5、6日(公社)SLネットとしての共通のプログラムツールを作る。2日間集中審議。

SLが担当したら誰もが共通して講義できる教材作りを行う。シェイクアウトから生き残るためには何をしておかなければならないのかをテーマにした教材を考えたい。データがあれば、持参すること。

事務局はPCとプロジェクター持参。

【次回の開催日】 1月6日(金)13時30分~

2016年11月の事業報告と今後の予定

(12月1日/災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野次郎)

1、防災とボランティアをめぐる情勢

1-1 社会全体(危機管理を中心に)

- ・11/18 鳥インフル(H5N6亜型)検出 鹿児島県出水市、各地に波及

1-2 災害,大規模事故分野

国内 ア 地震(気象庁発表で震度5強以上,首都圏は震度4以上、M7以上)

日時	震央	M	深さ	最大	場所
・11/22 05:59	福島県沖	7.3	10 km	5弱	白河市他 …津波警報と避難

・[火山]

イ 風水害(内閣府の災害情報掲載を主に対象)

- ・11/3 帯広で11月大雪 44年ぶり
- ・11/24 東京で11月積雪、観測史上初

海外 ア 地震(USGC発表、時間は現地時間、M7以上又は報道等で犠牲者多数)

・11/13 11:02	ニュージーランド南島	7.8	23 km	迷信
・11/24 11:24	プエルトリコ南南西	7.0	10.3 km	

イ 自然災害

ウ 事故等

1-3 防災行政等の動き

ア 政府

[内閣府]

- ・11月5日 津波防災の日

[気象庁]

- ・11/4 緊急地震速報訓練
- ・11/10 地震監視速報 「ラニャ現象が発生しているとみられる」

イ 自治体

ウ 被災地状況

(東日本大震災)

- ・避難・転居者数(復興庁発表) 13万4191人 前月比-3,669人 11/10付

(熊本地震)

- ・死者145人(検視50人、市町村90人、豪雨関連死5人) 11/14 県庁発表
- ・避難所解消 11/1

1-4 災害ボランティア等の動き

- ・JVOAD NPO法人として登記 11/1付
- ・防災福祉コミュニティ協会発足 11/25 代表理事 鍵屋一

1-5 注目すべきメディアと書籍等

- ・TV [NHK]
- ・書籍 新刊

2、この間の主な活動と今後の予定

2-1 基盤としての総合的な災害ボランティア活動

A、災害ボランティアリーダー養成事業

ア 全体的な到達点

- ・ S L 講座 9,423 人 公認講座 2,043 人* 計 11,466 人 11/25 現在

イ 本部主催の S L 養成事業

- ・ [報告] 千葉 45 期我孫子 11/5-12-26 市の補助対象
- ・ [報告] 神奈川 63 期横浜 11/25-26 初の 2 日間、応急手当別方式
- ・ [実施] 首都圏 99 期上智 11/26-27,12/11 来春に 100 回

ウ 大学等受託の S L 養成事業

- ・ [報告] 明治大学 11/5-6-12

エ 災害ボランティアリーダー等養成事業

- ・ [報告] 飯田市講座 11/19-20
- ・ [予定] JBU 第 13 期
東 福島 12/16-17、中 神戸 1/20-21 西 山口 1/27-28

オ 講座改革

- ・ [報告] 横浜市講座 実技分離方式実現
- ・ [報告] 飯田市講座 市町村主体方式の継続

B、防災 / 減災啓発推進事業

ア 本部等主催の防災啓発推進事業

- ・ [報告] 11/11 津波講演会 S L 湘南ネット主催 講師 今村文彦教授

イ 本部受託等の事業

- ・ [予定] 12/4 防災キャラバン六仙公園 指定管理者

ウ 他主催の事業への協力

エ 他主催の事業情報

C、S L ネットワーク / 災害ボランティア活動報告

ア 来期準備

イ 全体報告

- ・ [船橋ネット] 地域防災リーダー養成講座を指名競争入札で受注

2-2 総合的な防災事業

A、シェイクアウト事業 (防災訓練事業)

ア 到達点 2016 年 累計約 580 万人、世界で 5580 万人

イ 重要 気象庁、内閣府、消防庁連携

11 月 4 日 緊急地震速報シェイクアウト訓練

B、防災教育推進事業

ア 防災教育チャレンジプラン(内閣府共催)事業

イ 防災教育普及事業

ウ 学校・団体等防災教育推進事業

- ・ [各地] 学校での防災教育支援

C、被災者生活再建支援事業

- ・[報告]第 21 回地域防災計画実務者セミナー 11/16-17 JST ホール
テーマ 被災者生活再建支援セミナー
主催 法制学会(今年度より) 共催 防災科研

D、防災研究事業

3、事務局等

- A、広報・ニュースレター101号 記念は新年号企画
- B、他 ・石原信雄会長、11月24日で90歳、卒寿

以上

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
運営委員会 議事

1 理事会報告事項

1.1 第4回定時社員総会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項

日時：2017年（平成29年）3月25日（土） 13時00分～（会場は16時まで予約）

場所：市ヶ谷TKPカンファレンスセンター カンファレンス6A

議事案：【承認事項】2016年収支決算報告、2017年収支予算案（常勤理事の報酬の件はここに含める）、2017年事業計画案

【報告事項】2016年事業報告

講演会を検討

岡本正（弁護士・災害復興学）氏による講演を検討。これから調整。

1.2 2017年（平成29年）事業計画案について

添付「2017年（平成29年）事業計画（案04）」

1.3 2017年（平成29年）予算案について

別紙「収支予算書内訳表（正味）/平成29年1月1日から平成29年12月31日」を参照

- ・ 会費収入は820名@2400とした（実数770人）
- ・ 物品斡旋は、H28年11/30現在の売上げ約45万円をへ-ズに計上
- ・ 受託事業をとることを意識し、100万円とした

1.4 平成28年熊本地震 応援缶バッチの報告

添付「募金活動 口座出入金表 【平成28年(2016)熊本地震】」

第2次熊本義援金送金額：25万7120円（振込済み）

現在までの合計金額：76万6706円

* 年内に第3次振込をする予定

1.5 非常用炊出袋 第4次発注納品の件

第4次発注分の納品：1100パック 13.75箱（本部10箱 座間3.75箱）

本部在庫分から船橋社へ4箱

2 次回運営委員会

2017年1月6日（金）13時30分～